

活動のご報告

降雨による災害が、全国で発生しております。被害に遭われた方に対し、心からお見舞いを申し上げます。

当センターでは、現在、13課題の技術開発を実施しております。特に、今月はそれらの課題のうち、「長期育成循環施業試験」、「下刈り時期及び立地を考慮した省力化技術の開発試験」、「大苗植栽による長期密度管理施業観察試験」及び「溪畔域の植生回復試験」に係る調査を集中的に実施するため、職員が現場へ出張することが多くなり、連絡がつきづらいこともあるかと思えます。その場合は、お手数ですが、再度、連絡をいただきますか、センター宛てにメールの送信を願います。

センター宛てメールアドレスは、ks_kasama_postmaster@maff.go.jpです。ホームページのリンクをクリックするとインストールされているメーラーが起動します。

関東森林管理局 森林技術・支援センター

連続無災害7400日達成！！

令和3年6月10日に森林技術・支援センターは、連続無災害記録7400日を記録し、現在も継続中です。

これにより、関東森林管理局長から安全功労賞をいただきました。今後も、無災害記録の継続に向けて取り組んでいきます。



令和3年度民国連携に係る打合せ会議への出席

令和3年6月29日、茨城森林管理署 会議室において、民国連携に係る打合せ会議が開催され、森林技術・支援センターから所長が出席し情報交換を行いました。

当日、説明に用いた資料をアーカイブページに保存しましたので、ご興味がある方は御一読を願います。



長期育成循環施業試験について

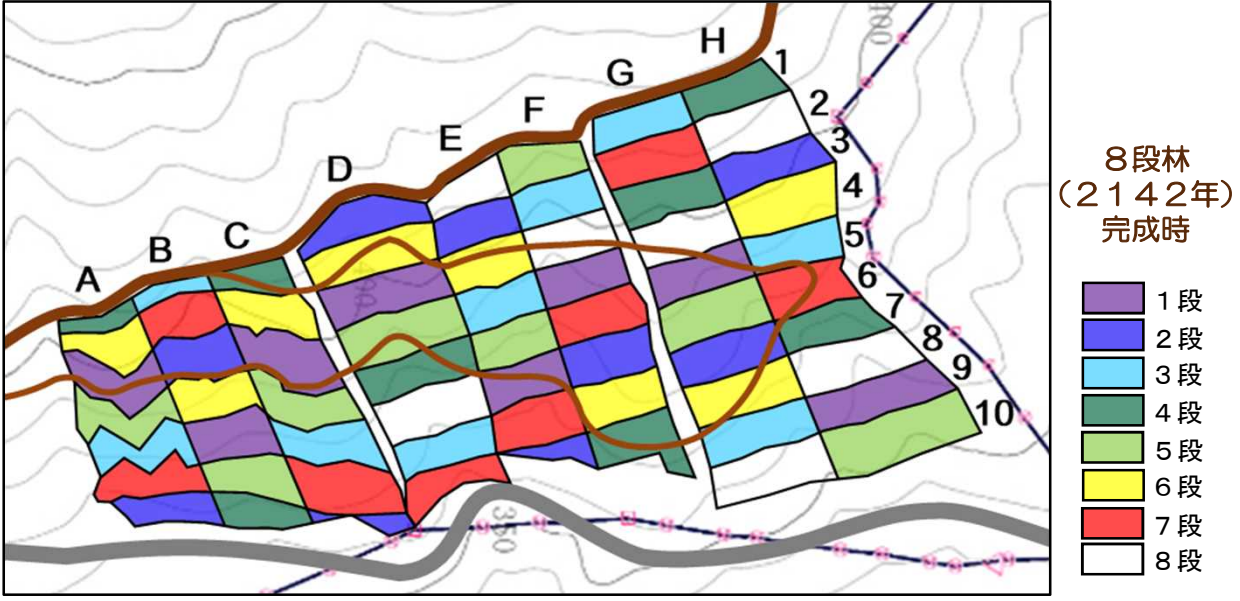
当該試験は、来年度が当センターで計画している伐採周期にあたることから、本年度7月から重点的に選木調査を実施し、材積等のデータを収集します。

伐採方法等については、次項の図のとおりです。

- (1) 試験地設置場所及び面積について
石岡市小幡 横道国有林223つ1,つ2,つ3林小班 (約9ha)
- (2) 期間
平成14年度(設定)から
- (3) 共同開発
森林総合研究所
- (4) 試験概要

針葉樹一斉人工林について、モザイク的に伐採・更新を繰り返すことにより林分構造を多様化し、森林資源の循環利用と併せて生物多様性を保全する森林へ誘導するとともに、路網整備による施業の効率化を図りながら多面的機能を発揮する長期育成循環施業を目的とした試験。

長期育成循環施業設計図



- 4段林への誘導 -

